



NO.1453  
3月3日号  
発行所  
日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四三二四四五八  
F四三二四四五七

### 文教民生委員会所管事務調査

## ごみ処分場問題について

2月26日、文教民生委員会が開かれ、早期に埋立完了となる最終処分場の延命化対策とかさ上げについて、また、広域処理の方法について、市より説明がありました。

### 最終処分場の

## かさ上げと延命化策について

網走市は昨年2月、明治の最終処分場を中間処理施設（広域化による焼却）の運用が始まる2028年（令和10年）4月まで使えるようにするため、延命化策をたてました。

しかし昨年11月、中間処理施設の開始が1年半から2年程度遅れることが判り、今の処分場をさらに何メートルかさ上げできるか検討をしたところ、3メートルかさ上げができたことになりました。約4万3千m<sup>3</sup>の容量が増える試算（表1）と試算（表1）をしました。

### 嵩上げによる容量の増加（表1）

当初埋立容積	139,000 m <sup>3</sup>
嵩上げ部分総容量	42,960 m <sup>3</sup>
最終覆土厚さ 50cm	▲ 7,660 m <sup>3</sup>
最終埋立容積（廃棄物量）	174,300 m <sup>3</sup>

また、延命化策は、表2のようになっています。これらが80%達成した場合で、表

### 延命化策（表2）

延命化策	減らす量（年あたり）
①生ごみの堆肥化	144 m <sup>3</sup> 831-687
②さらなる破碎処理	959 m <sup>3</sup> 2,535-1,576
③紙オムツの熱圧縮	2,209 m <sup>3</sup> 3,156-947
④紙・布（汚れた）の焼却	297 m <sup>3</sup>
⑤覆土の削減	3,702 m <sup>3</sup> 5,400-1,738
⑥分別の促進	重点的な啓発活動

### 1. 施設整備・宅盤造成等費（表3）

項目	②メタンコンバインド 説明資料	①焼却のみ 答弁などから
施設整備費	110～165億円 A (Aの7～8割) × (交付金1/2) と交付税措置(C)で 46～60億円	107～138億円 B (Bの7～8割) × (交付金1/3) と(C)で 47～67億円
宅盤造成等費	約12.7億円	約12.7億円
未確定整備費 α (③+④)	③伐採・伐根費 ④排水処理施設（下水道 or 処理施設）	③伐採・伐根費 ④排水処理施設
総事業費	最大約178億円 + α	最大約151億円 + α
1市5町の負担	最大約73億円 + α	最大約80億円 + α

### 2. 維持管理費（年間）

項目	②メタンコンバインド	①焼却のみ
維持管理費	5.5～9億円	4.6～5.9億円

## 広域化による中間処理は

### 2案を検討中

1市5町（網走市・大空町・美幌町・小清水町・斜里町・清里町）で検討をする中で、中間処理施設について、焼却を基本としています。また、生ごみでのメタンガス化による発電も検討しています。現在、①焼却のみと②焼却と生ごみメタンガス発酵による発電（メタンコンバインド処理方式）の2案を検討しています。しかし、すでに網走市は、生ごみを堆肥化して資源化し、75%処理できている現状があります。②の案が出されているのは、広域化により各自自治体の生ごみ処理の実情を考慮したからと言います。

### 総事業費178億円 + α

市が示した事業費は、表3の②メタンコンバインドの部分だけでした。村椿議員は、焼却のみの事業費が示されていないことを指摘したところ、①の焼却のみの事業費

## お詫び

去る2月26日、10時より文教民生委員会が行われました。わたくし村椿敏章は、文教民生委員会が10時から行われるのにも関わらず、生活相談の依頼を済ませようとした結果、委員会に遅れて出席いたしました。全ては私の議員としての自覚の足りなさであり、あつてはならない事をしてしまい、深く反省をしております。市民の皆様の期待を裏切り、誠に申し訳ありませんでした。二度とこのような事を起こさないよう肝に命じ、同時に信頼回復のために誠意をもって努力してまいります。

村椿敏章

## 流氷

2月17日付新婦人しんぶん「政府文書から『食料自給率』が消える？」と書かれています。岸田政権が目指す「新・食料・農業・農村基本法」には「食料安全保障の観点」という言葉はあるが「食料自給率」という言葉は一切ありません。現在、食料自給率37%日本、輸入食料に依存する国づくりをこれ以上進めさせていいのでしょうか？▼日米安保条約以降、アメリカからの要求を次々受け入れ、農産物の市場解放、牛肉オレジン自由化、さらにコメ自由化がされました▼国内の農業の担い手も減少、いま頑張っているのは80歳以上の農業従事者が多くなり、後継者がいない農家は7割に上ります▼平和の問題と何かかわります。日本は大豆、トウモロコシはアメリカ産、冷凍野菜、鶏肉、生鮮野菜は中国産が多くなっています。これらの輸入が止まったらどうなるでしょうか？▼今年の3・8国際女性デー網走集

会が3月9日エコーセンターで「私たちの食料、大丈夫？」のテーマで開催されます。映画『希望の給食』が上映され、「食」について語り合い、考えます。すみっこ